ツアー番号
LKWZK3SV7C

楽園を巡るトレイル（7日間）

7日間・6泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この7日間のツアーは、スリランカの文化三角地帯とカンディの丘陵都市、南西部の海岸を専用車と運転手ガイドで結びます。ダンブッラの洞窟寺院、ポロンナルワとシギリヤの古都、ミンネリヤでの野生動物サファリ、カンディの寺院と庭園を巡り、最後に亀の保全活動、川のサファリ、歴史あるガール砦の町を経由してベントタのビーチで終わります。

旅行者はスリランカの考古学と宗教史、野生動物と沿岸生活について実践的な紹介を受けます。内陸部での長い観光日が続いた後には、より落ち着いた沿岸地域での休息が用意されています。スパイス庭園、工芸品工房、文化的なダンスパフォーマンス、そして象、亀、川の野生動物を間近で見る機会があります。

ルートはコロンボ空港から文化三角地帯を経由してカンディに向かい、ベントタまで下ってから空港に戻ります。運転手ガイドが観光地間の運転全体を管理します。



日程詳細

1日目　空港 → ダンブッラ

コロンボ空港に到着後、専属ドライバーガイドがお迎えし、ダンブッラへ向かいます。午後は石窟寺院群の見学をお楽しみいただきます。



ダンブッラ石窟寺院

この石窟寺院群は紀元前1世紀に起源を持ち、黄金の洞窟寺院、神聖なる王の洞窟、大王の洞窟、大新僧院など5つの主要な洞窟から構成されています。内部には仏陀の生涯を描いた古代の壁画に加え、数百体に及ぶ仏像やその他の神々の像が安置されています。石窟群から少し離れた場所には、巨大な黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5

2日目 ダンブッラ → ポロンナルワ → ミンネリヤ → ダンブッラ

この日は、スリランカの中世の首都の遺跡を訪れた後、野生の象を探すジープサファリに参加し、ダンブッラへ戻ります。



ポロンナルワ

スリランカ第二の古代首都として、10世紀から13世紀にかけて繁栄しました。遺跡の街を歩くと、ガル・ヴィハーラ、ワタダーゲ、蓮の池、ランカティラカ寺院、そしてこの都市の黄金時代を築いたパラークラマバーフ王の像などの記念建造物を見ることができます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

ミンネリヤ国立公園ジープサファリ

ミンネリヤ国立公園を3時間かけてジープで巡るサファリでは、象をはじめ、低木林、森林、草原に生息するさまざまな哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類を観察する機会があります。5月から10月にかけては、150頭を超える象が一堂に集まる「ガザリング(象の大集結)」として知られる光景が見られます。

3日目 ダンブッラ → シギリヤ → マータレー → キャンディ

午前中はシギリヤ・ロック要塞の登頂を楽しみ、キャンディへ向かう途中、マータレーのスパイスガーデンに立ち寄ります。夜はキャンディで工芸品めぐりと伝統舞踊の観賞をお楽しみいただきます。



シギリヤ・ロック要塞

かつてカーシャパ王が統治していた、5世紀に築かれたこの岩山要塞は、ユネスコ世界遺産に登録されています。麓にあるライオンの爪をかたどった入口から「シーギリヤ(獅子の岩)」と呼ばれています。登る途中には色褪せない古代の壁画が残り、頂上へ至ると、段状に設けられた庭園や、スリランカ古代の水利技術を物語る現在も機能する貯水池が広がっています。

Wrobell · CC BY-SA 3.0



マータレー・スパイスガーデン

マータレー・スパイス・ツアーでは、スリランカのスパイス栽培の中心地マータレーにあるスパイス&薬草園を実際に体験しながら見学します。コリアンダー、チリ、シナモン、カルダモン、ナツメグなどの作物とその用途、そしてアーユルヴェーダ医学について学ぶことができ、香り豊かな熱帯樹木が木陰を作る庭園の中で楽しめます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

キャンディの工芸めぐり

キャンディでは、宝石細工、木彫り、バティック（ろう染め）など、地元の伝統工芸を巡る見学が行われます。



キャンディアン伝統舞踊ショー

1時間にわたるこのショーでは、火の踊りや剣の踊りを含む伝統的なキャンディアン舞踊と音楽が披露され、ダンサーたちが伝統的な太鼓の音に合わせて舞います。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

4日目 キャンディ → ペラデニヤ → キャンディ

キャンディ周辺の寺院めぐりを楽しんだ後、ペラデニヤの王立植物園を訪れ、キャンディ湖と市街地を散策します。



エンベッケ寺院

精巧な木彫りで知られる寺院です。

Cherubino · CC BY-SA 3.0



ガダラデニヤ寺院

見事な絵画と彫刻が特徴の歴史的な寺院です。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ランカティラカ寺院

当時としては建築的に非常に先進的であった寺院です。

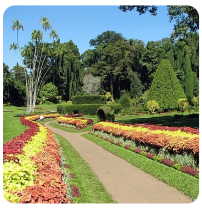
BluesyPete · CC BY-SA 3.0



デガルドルワ石窟寺院

洞窟内部の壁には、丹念に修復された絵画が描かれています。

A.Savin · FAL



ペラデニヤ王立植物園

19世紀初頭に設立されたこの植物園には、ラン、スパイス、薬用植物など4,000種以上の植物が植えられています。見どころは砲弾樹、吊り橋、生垣の迷路、そして庭園の並木道に沿って立つ大きな木陰を作る木々です。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



キャンディ湖と市街

一日の終わりに、キャンディ湖の周りを散策し、周辺の街並みを探索するひとときをお楽しみいただきます。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0

5日目 キャンディ → コスゴダ → ベントータ

海岸へのドライブの途中、コスゴダのウミガメ保護センターに立ち寄り、その後ベントータにチェックインしてビーチでのひとときをお楽しみいただきます。



コスゴダ・ウミガメ保護センター

スリランカ南西海岸に位置するこの保護センターでは、地元の海岸に産卵する5種の絶滅危惧種のウミガメを保護しています。孵化までの卵を守る保護プログラムにより生存率の向上に努めており、訪問者は赤ちゃんウミガメを見たり触れたり、餌を与えたりすることができ、ケアを受けている負傷した成体のウミガメも見学できます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ベントータ・ビーチ

スリランカで最もよく知られるビーチの一つであるベントータでは、日差し、柔らかな砂浜、海風を楽しむことができ、夕暮れ時には岸からウミガメの産卵が見られることもあります。ビーチ沿いではジェットスキーやウインドサーフィンなどのマリンスポーツも楽しめます。

Vincent van Zeijst · CC BY-SA 3.0

6日目 ベントータ → バラピティヤ → ガール → ベントータ

この日はマードゥ川でのリバーサファリと、旧市街ガール要塞の見学を組み合わせ、再びベントータへ戻ります。



マードゥ川ボートサファリ

マードゥ川のマングローブ生態系を2時間かけて巡るボートツアーでは、日光浴するワニやミズオオトカゲ、シナモン栽培を営む住民が暮らす小さな島、そして自然の生息地にいる水鳥たちを観察できます。途中、魚によるマッサージ体験の立ち寄りも含まれています。

SUPindia · CC BY-SA 4.0



ガール要塞

かつてポルトガルとオランダの拠点であったガールは、アジアで最も保存状態の良い要塞の一つです。見学では、要塞内の博物館や灯台を訪れ、オランダ統治時代の名前が今も残る石畳の街並みを散策します。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0

7日目 ベントータ → 空港

朝食後、チェックアウトを済ませ、出発便に合わせて空港へ送迎いたします。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, Fuel, Parking & Highway tolls.
- Service of English-Speaking Chauffeur Guide.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation and Meals.
- Entrance fees to the respective sites.
- Chauffeur Guide's Accommodation.
- Expenses of personal nature.
- Visa and Related Expenses.
- Tips & Portages.